



そろいの浴衣で優雅に舞う



「祭り最高」全身で表現。若さいっぱい飛び跳ねる

踊って歌って大騒ぎ 夏の夜に酔いしれる！

真夏の夜を彩る恒例の「ねう祭り」が、7月17日、根雨の街内で行われました。

夕やみせまるころから各自治会など11組が、日野町音頭、ソーラン節、傘踊りなどで参加。そろいの浴衣やハッピを着て、軽快な音色に合せながら街中をねり歩きました。

踊り子たちが姿を現すと、祭りに繰り出した人たちは、風情ある踊りと雰囲気酔いしれていました。

中でも注目を浴びたのは、根雨3区自治会「祇園鳴子ばやし」。太鼓の波動、響く鳴子の音、そして、み

なぎる熱気ー。日野町音頭をアレンジした躍動感あふれる踊りで、見物客たちを魅了しました。

祭りも最高潮に達するころ、色とりどりの花火が打ち上げられ、夏の夜空に大輪の花を咲かせると、見物客から大きな歓声が上がっていました。

見物客たちは、歩行者天国が終る午後10時をまわっても余いんに浸り、遅くまで祭りの夜を楽しんでいました。この日、祭りのメイン通りは、たくさんの屋台と人出でにぎわいを見せました。

ねう祭り



小さな子どもも踊りに参加



色鮮やかな花火が夏の夜空に咲く



情緒溢れるしなやかな手の動き